



校長通信

令和6年度13号 令和6年12月24日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《2学期終了！》

令和6年度2学期、本日で終了です。私は、2学期の始業式で、1年間のうちで一番長い学期、行事も多い学期で、勉学に行事に精一杯取り組んで成長してほしいと期待を込めて、生徒達に話しました。

2学期を振り返って、私なりの感想を述べたいと思います。10月に実施した体育大会では、子供たちは、自分の出場する種目に全力で参加することはもちろんですが、クラスメートの応援も一生懸命に行っていました。11月の文化祭も、日頃の授業の成果を展示で発表できていましたし、生徒会の発表も工夫されて、楽しいパフォーマンスでした。マラソン大会は、ふざけて走る者は一人もなく、参加者全員が自分の力を出し切って力走してくれました。河北中学校の代表として出場した駅伝も、和歌山市で男子7位、女子6位入賞と健闘してくれました。このように、河北中生は総じて前向きに行事に取り組み、活躍してくれました。とてもうれしく思っています。

但し、今後、改善してもらいたい点もあります。それは、授業を受ける態度です。教科書、ノートの準備が出来ていない生徒、つい私語をしてしまう生徒、居眠りをする生徒も少なからずいました。授業と休憩のけじめがつかないということ。私が、いつも言う残心は、失敗を恐れない精神、Love your mistakes! の精神でチャレンジし、事が終わってもしっかりと振り返り、自らの成長に生かすことです。3学期、残心の精神で改善させてほしいと思います。

保護者の皆様をお願いします。明日から冬休みですが、子どもさんが生活のリズムを大きく乱すことないよう、気をつけてあげてほしいと思います。そして家庭での仕事を積極的に手伝うよう機会を与えてください。本日、手渡した通知簿で結果だけを重視することなく、2学期を振り返って、良いところをしっかりと認め、課題があるところはしっかりと話し合って克服に努めるよう助言してあげてください。よろしくお願いします。

最後に、今学期も河北中学校の取組にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございました。3学期も、よろしくお願いたします。

《カイロスロケット 2号機の打上げについて思うこと》

風の影響で2日連続で延期になっていた小型ロケット「カイロス2号機」が12月18日午前11時、打ち上げられました。ネットで打ち上げの状況を見て、喜んだのも束の間、上昇中にトラブルが発生し、打ち上げは失敗したとのことでした。

当初、ロケットの打ち上げは2021年を目指していたようですが、コロナ等の影響で打ち上げの予定が、大幅に遅れました。そして、待ちに待った打ち上げが、2024年3月9日午前11時に決定。ところが、直前に予定時間を変更。11時17分打ち上げとなりました。しかし、警戒区域に船舶が侵入し、打ち上げはまた延期となりました。私はこのとき、歴史的瞬間を見ようと打ち上げ場近くに行っていました。打ち上げが見られずとても残念に思いました。今度こそはと、3月13日11時1分、カイロス初号機は、発射されたものの、数十メートル上昇したのちに爆発を起こし、残念ながら打ち上げは失敗となりました。この時は、当時の2年生と体育館でネット中継を見ていました。

そのような経過を経て、今回の打ち上げとなったのですが、ミッションは果たせず、残念な結果となってしまいました。しかし、ロケットは実際に宇宙圏まで届き、少しずつですが段階を追って成功に近づいていると思います。

記者会見で、関係者は、「私どもは今回の事象を失敗とは捉えていません。次の挑戦に向けての糧になると私どもは考えています」とコメントしました。ロケットの打ち上げの難しさを実感するとともに、社長の前向きな言葉に、諦めずチャレンジすることの大切さを改めて実感しました。